

## オミクロン変異株 No15

大都市圏は感染者数が減少、地方では感染が拡大しています。オミクロン BA2 によると考えられますが、BA1 と BA2 の遺伝子が混在する XE 株と考えられるウイルスも発見されています。

現在の減少傾向が続くと考えられますが、前回同様、減少化の理由ははっきりせず、若者の3回目ワクチン接種がすすんでいないことから不確実です。

剣道関連の感染も依然として全国的に報告が続いています。感染の機会は稽古などの実技中は非常に少なく、前後の更衣や移動中の会話などによることが多いと考えられます。

感染を防ぐことは十分可能です。不織布マスクの常用、密接回避、不要な会話(特に密接しての会話)をしない、常に空気の流れるところや空調が十分にあると考えられるところに位置する、などを守れば安全です。

剣道の稽古、講習会、審査、大会などは守るべきことを厳守しながら実施しましょう  
守るべきこと(厳守)

- ・稽古時など実技中は全剣連ガイドラインを守ってください
- ・面マスクは面着用の直前につけてください。それまでは不織布マスク着用してください
- ・実技中以外は他の人と距離を取ってください。最低 1m、可能ならば 2m以上
- ・稽古その他の活動の最中、前後は会話は極力控えてください、懇親会などは時期尚早です。絶対に慎んでください

死亡例は 80 歳以上が全死亡者の 80% 近くをしめ、10 歳未満の死亡も少数ですが報告されています。重度のリスクを持つ方が多いのですが、リスクは無かった、不明の例も報告されています

ワクチンの重症化と致死率をさげる効果は非常に高いことが実証されています  
ワクチン未接種者の死亡率はデルタ株と同じ水準であり非常に高いです

### オミクロン株亜種について

BA.1、BA.1.1: 世界のオミクロン株の 96% を占めるが減少中

BA.2: 57 国以上で確認され、急激に増加している。感染性は高い。従来の変異株よりも

18～50%更に高いという報道もある

南アフリカでも BA.2 が優位となっているが感染全体数は減少傾向にあり、再度の感染増加につながるかどうかは不明、いまのところ報告はない

BA.3: 詳細不明

あらたにオミクロンXE株が確認されましたが感染の主体になっているという報告はまだありません

## 1 感染性

- ・感染率はデルタ株の 3～10 倍とされている
- ・感染⇒潜伏期(無症状だがすぐにウイルス放出、感染源となる)1～3 日、5 日を超えることは稀  
⇒発症、症状は数日で収まることが多い、症状消失後 5 日程度でウイルス放出量減少  
BA2 はさらに短いという報告もあります。
- ・現在は 20 代以下が感染の半数以上をしめている。  
また高齢者も施設入所者などリスクの高い人を中心に増加している。

感染性が非常に高い理由

- ・上気道(鼻腔、喉など)に多くウイルスが繁殖するため会話、大声、くしゃみ、咳などで大量のウイルスが放出される
- ・繁殖も早く感染 2 日後には人に感染させる
- ・中和抗体の効果が過去の新型コロナウイルスよりも減弱している
- ・中和抗体に認識されにくいことも抗体の効果を減少させる  
(ステルスタイプとよばれる BA2 型が特にこの特性がつよいといわれている)

## 2 重症化、死亡率

- ・各種の報告から率としては入院期間、重症化、死亡は従来株よりも低下しているが、  
実数ではすでに第 3 波をこえ非常に多くの重症者や死亡者を輩出している
- ・米国でのオミクロン株による死亡者はすでにデルタ株による死者を超えている
- ・依然としてインフルエンザを超える重症化、死亡率を示している。
- ・全国的には一時期の医療逼迫は改善されている。

## 3 症状

- ・日本の報告ではほぼ風邪症状と同じと考えられ、鑑別は症状だけでは困難
- ・症状内訳、37.5℃以上の発熱 75%、咳 60%、全身倦怠感 52%、咽頭痛 46%、  
鼻水・鼻閉 38%、頭痛 33%、関節痛 25%、呼吸困難 8%、嗅覚・味覚障害 2%(重複あり)。  
潜伏期間は 3 日(範囲 2-5 日)

#### 4 ワクチンの効果

##### 重症化、死亡率と過去のワクチン接種効果

第6波における暫定値、広島県健康福祉局が推計

2022年2月3日(木)配信千葉雄登(m3.com 編集部)

##### 第5波(デルタ株)

###### 60歳未満

ワクチン接種歴あり(1回以上) 重症化率 0.33%、致死率 0.03%

接種歴なし 重症化率 0.59%、致死率 0.09%

###### 60歳以上

接種歴あり(1回以上) 重症化率 2.96%、致死率 1.67%

接種歴なし 重症化率 6.91%、致死率 3.28%

##### 第6波(7540人、オミクロン株)

###### 60歳未満

ワクチン接種歴あり(1回以上) 重症化率 0.02%、致死率 0%

接種歴なし 重症化率 0.09%、致死率 0%

###### 60歳以上

接種歴あり(1回以上) 重症化率 0.96%、致死率 0.55%

接種歴なし 重症化率 5.05%、致死率 4.04%

- ・3回目接種で中和抗体は高くなるのがモデルナ、ファイザー・ビオンテックワクチンともに確認されている。感染防止にもある程度効果があるが今までの変異株ほどの効果は期待できない。3回目接種後、4回目接種後(イスラエル)でも感染が確認されている
- ・3回目接種後2週間たてば入院は90%回避することができる  
重症化、死亡を防ぐ効果は3回目接種によりさらに高まる
- ・高齢者をふくむ感染・重症化リスクの高い人、18歳未満の小児への接種を急ぐ必要が高い  
若年者の3回目ワクチン接種が進まず、感染拡大を助長することが非常に懸念される。

#### 5 対策

- ・従来からの個人感染防止策(マスク着用、手洗い(とうがい)励行、3密回避はすべて有効  
オミクロン株に対しては3密回避が特に重要
- ・しかし、マスク着用も今までほどは有効性が高くないとする報告もある。その場合でも感染者自身がマスクをしていれば感染を防ぐ可能性は非常に高くなる

・全ての人がマスク着用すること、マスクを外す機会を無くすこと、3密回避、  
が今まで以上に重要

・剣道の実施は他の武道、スポーツよりは新型コロナ感染に対し安全に行える  
が、感染対策を厳守することが必須